

## 第7回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会

日時 : 2017年(平成29年)8月8日(火) 午前10時00分 開会

場所 : 湘南NDビル6階6-1会議室

出席者 : 委員14名(五十音順・敬称略・下線は代理出席)

坏 出穂	<u>伊澤 明</u>	<u>内海 芳宏</u>	岡村 敏之
神永 裕一	澤田 久美子	杉山 茂	<u>露木 輝久</u>
西山 幸彦	廣田 和江	福島 勇	細谷 昭二
丸山 雅樹	三上 雅之		

### 次第

1 開会

2 成立宣言

3 議題

- (1) 平成28年度供用箇所の運用状況について
- (2) 平成29年度の事業展開について
- (3) レンタサイクルについて(調査・研究状況報告)
- (4) 藤沢市自転車走行空間のあり方の改定について

### 配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 座席表
- ・ ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会設置要綱 新旧対象表(案)
- ・ 協議会資料(パワーポイント)

傍聴者 : 1名





のです。それなのになぜこんなに少ないのかと思ったのです。確かに逆のほうに無料の駐輪場があるのですが、私が思うだけで、ほかの方はわかりませんが、それ以上にPR不足だと思うのです。うちの家族に聞いてきましたが、知らない、それから、私の周りの人たちも知らないということがありますので、こういうすばらしくて、お金をかけたところは、もう少しPRする。例えば善行駅前のそうてつローゼンの前でチラシを配っても決して悪いことではないと思うのです。例えば自転車が少なく、原付が多いというわけでしたら、確かにここは高台で、駅からこのところまでが急坂になるので、自転車で上るのはとても大変だと思います。逆に原付が少ないということは、PR不足と私は思いますので、ここを逆のほうにつくれると思いますが、もう少し力を入れてPRし、お金の回収に努めたほうがいいのではないかと思います。

岡村会長 ありがとうございます。委員の方々に、この件で何かありますか。よろしいですか。それを伺ってから、路上駐輪、駐車現状とかで事務局に何かコメントがあったらいただこうと思います。特にありませんか。

では、事務局から何かあればお願いします。

事務局(青柳) 道路河川総務課の青柳と申します。善行の西口、今年度開設させていただきました。委員御指摘のとおり、利用状況ですが、自転車は結構利用はあるのです。市内全域で実態調査を、毎年2回やっているのですが、先月、その状況を見ますと、過去の5年程度と比べますと、東口の無料の駐輪場にバイクは60台から70台程度は無料のほうに流れているような状況になっております。後で説明させていただきますが、来年度、東口を有料化整備予定をしまして、その辺に向けて、西のほうもまだ定期も余裕がありますので、そういう形でPRして、善行西と東のバイクと自転車の適正な需要に応えられるように地域と調整していきたいと考えています。

岡村会長 ほかはいかがでしょうか。大体よろしいでしょうか。

の話が余り出なかったのです。歩道というか、自転車歩行者道の利用率は若干減ったということで、それは想定というか、目標に進んでいるということでしょうか、違法ではないという話は同時にあるのです。とは言いつつ、歩道をそれなりの速いスピードでということになると、これは法の趣旨にそぐわないということになるので、自転車歩行者道、望ましい通行の仕方をしているかどうかということです。時速20キロぐらいで歩道を突っ走っている人がなかなか車道に移ってくれないとなると、これはいろいろやる余地があるでしょうし、子どもがゆっくり走っている、そういうことがこの地域はたくさんあるのだということであれば、この数値はおおむねそれなりにあるべき姿だということになるのだと思うのです。実際に整理後の状況を見られていて、感触がありましたら教えていただければと思います。それが無いということであつたら、特に結構です。

事務局(河野) 道路整備課から回答します。

現状、整備後、調査しておりますが、自転車は通常の走行をして、特に問題なかったと思います。



送りまして、1月に優先順で教室日程を組んでいるのですが、4月、5月とか、新しい学期がかわったあたりは非常に人気で、なかなか御希望の日程を押さえられない部分がございます。近年は秋も年末もぎりぎりまで教室が入ってきているような形で、恐らくその調整の中で、PTAとこの夏の時期になっているのかと思います。

DVDは、ホームページに周知したり、先ほどの交通安全の自治会・町内会の回覧チラシにも載せています。基本的に個人には貸し出しをしていないのですが、団体規模であれば1週間2本原則でお貸ししていますので、何かのイベントの機会とかでぜひ活用していただければと思いますので、周囲の方にも御案内していただければと思います。

杉山委員 19ページの自転車街頭点検の実施による傾向値が出ましたらお教えいただきたいと思います。自動車がスタートする場合、指導点検といいますか、音とか、振動とか、がたがきているか点検するのですが、自転車の場合は子どもを乗せている方もいらっしゃるって、老人も多いので、自主点検できるようなマニュアルはあるのですか。もしそれがなければ作成の予定はあるかどうか、お教えいただければと思います。

事務局（佐藤（防犯）） 自転車街頭点検の傾向ということによろしいですか。私は幾つかの地区を見た印象だと、南側はさびが多いとか、ルールに関係になりますが、もともと夜は運転しないからライトをつけていないという方もいました。この会議の出席の西山委員が点検にも参加していただいているので、専門家の方にお話を聞いたほうが、より傾向がわかるかもしれないです。

もう1点、自分で自主点検ですが、小学校3年生を対象にしている自転車の交通ルールのときには、皆さんの前で実際点検を見せていたり、あと、自分でできる自転車の点検というチラシをこちらのほうでつくってはいるのですが、教室のときに出しているもので、センターや公民館等に置いているものではないので、なるべく広く周知していきたいと思います。

西山委員 自分で判断というのはなかなか難しいものでありまして、皆さんがやるのは空気を入れるとか、油をつけるとか、その程度にさせていただいたほうがかえっていいかと思います。藤沢輪業組合では、藤沢支部で25店舗いますので、ホームページ等でも見れるので、最寄りの自転車屋さんにも助けてもらうのが一番だと思います。乗り物なので、自分の命をあずかるものなので、自己判断ではなく、専門にやっていただいたほうがいいと思います。皆さんがやるのは空気を入れるとか油をつけるとかで、危険だと思ったら、最寄りの自転車屋さん、行きつけの自転車屋さんを探して、やっていただくのが一番いいかと思います。

岡村会長 これに関連で何かございますか。

澤田委員 関連です。私も子どもが小さいときに、安いのですと危ないと思いましたが、自転車はいいものを買いました。自動車が何年に1度点検がありますので、子どもの自転車は必ず1年に1回、よくても悪くても、自転車屋さんに見てもらい、点検してもらいました。大人ですと、ここが悪い、ここが変だというのはわかるのですが、子ど

もの場合は何があるかわかりませんので、点検は必要ではないかという感想です。

岡村会長 自転車の整備に関してはいかがでしょうか。

坏委員 14ページの走行空間整備、江の島大橋のところなのですが、今、これは現況は車道も走れないということでしょうか。自分の意識で、大八車みたいな標識が通行どめ、軽車両はだめというので、リヤカーとか大八車は車道はだめだと思うのです。時期がいつかはっきり確認していないのですが、知人がスポーツバイクで車道を走っていたときに、警察の方に注意され、車道はだめだよ、歩道を押して歩いてくださいと言われたということです。私も車で行ったときに、江の島から藤沢方面に行くところに軽車両不可という珍しい交通標識を見ましたが、自転車不可にはなっていなかったので、今の通行の仕方を確認したいと思います。

あと、これを見ると、完成の予定が、中央分離帯をなくして3車線になる、橋はそのままで、幅は広がらないのですね。車道を今の幅の中で車道を3車線にして往復で矢羽根と言われましたが、通行空間をするという説明があったと思うのですが、それで車が狭くないのかと不安に思いました。

岡村会長 具体的な考え方と現状につきましてお願いします。

事務局（北村） 都市計画課からお答えいたします。

現状の規制についてなのですが、私も認識がなくて、確かにそういった標識があったという記憶はあるのですが、自転車は車道の左側を通ってもいいのではないかという認識です。

福島委員 3月まで観光協会にいましたので、江の島大橋のことをお話しします。以前は自転車が通行できなかったのです。自転車が通行禁止になっていまして、私の記憶ですが、1年か2年ぐらい前から、自転車が通行できるように標識がなくなったのです。ですので、鎌倉方面から来る方は左側で江の島に入ることは今できます。ですから、現状では自転車は通れます。

事務局（北村） 幅なのですが、こちらの絵にもありますように、現状、10.8メートル、全体で幅員があるのですが、そこを1.2メートル拡幅しまして、総幅員が12メートルになります。車道の幅も従前の3.0メートルから改良後も引き続き3.0メートルということで、自転車の通行の空間を確保しながら、車の走行幅を狭めることはないと聞いています。走行の表示の仕方なのですが、おっしゃられたように、車道の左端に矢羽根を引くということで、神奈川県から聞いております。

岡村会長 この件、何か補足がございましたら。説明のとおりということによろしいですか。

神永委員 神奈川県です。これは私のセクションではないのですが、車道の幅はもともと3メートルということで、新しい完成時も3メートルになっておりまして、その上の県道30号も3.25メートルということで、車道の幅は3メートルから3.5メートルぐらいが通常ですので、特に狭いということはないのではないかと考えております。

坏委員 23ページですが、湘南地区に住んでおりますので、土棚石川線の周知チラシをありがとうございました。今回、議題1のグラフを載せていただいたことで、目で見えてすごくよかったと思います。これをその後、何月何日に調査したときにこういう結果が出ましたので、また皆さん、これをもっと増やしていけるようになったらいいですねというような周知、啓発をこれからされていくということをさっきおっしゃられていたので、その辺もまた住民として回覧を見ていると、そこが意識づけになるのではないかと思います。意見です。

岡村会長 いずれにしても調査はされますよね。お願いします。

ほかにどうでしょうか。

福島委員 1点だけ教えていただきたいのですが、17ページの駐輪環境整備のところ、【参考】年度別実績が出ています。藤沢駅、辻堂駅は、平成25年から比べると大幅に警告数も撤去数も減っている。そういう中で、湘南台駅周辺が警告数、撤去数が大幅には減っていないので、何かそこに原因があるのかどうかだけ確認させてください。

事務局（青柳） 今、地域からも声が上がって、市民からも意見をいただいているのです。湘南台の東口は駐輪場は地下にあるのですが、そこがいつも通勤通学で満車の状態です。買い物の方は民間の駐車場があるのですが、定期待ちも200人程度毎年あるということで、地域から、駐輪場を東に関してはもう少し拡大してほしいということがあります。湘南台は駐輪台数が少し足りないのかという部分と、あと、西口のほうは、まちづくり協会で駐輪場があるのですが、こちらがまだ空きがある形なので、そちらへの誘導とか、PRをしています。今、携帯でも空き状況を見れるような事業をまちづくり協会のほうでやってもらっていますので、そういうものをもっと周知して、駐輪場への誘導を促していかなければいけないと思います。その辺がこのような数字の硬直している部分と、台数がなかなか減っていかないという部分に関係しているのかと考えています。

岡村会長 29年度の事業展開についてはよろしいですか。

丸山委員 お聞きしたいのですが、15ページ、駐輪環境整備の藤沢本町駅自転車等駐車場のところで、有料にされていくということで、これからいろいろ計画を練られるということです。伊勢山橋から右折して藤沢652号線を三共自動車学校へ行く手前のバイパスまでの手前の車道が非常に狭くて、歩道もないところもございますので、その辺、自転車を通るときに非常に危険な状態です。ここは将来的に道路を拡幅するだとか、歩道をつくる計画的なものはあるのか、教えていただければと思います。特に歩道のある部分については、自転車がとめられて、人が歩くことは困難という状況のところですので、ここを早く整備を進めてほしいといつも思っていたのですが、計画がありましたら教えてください。

事務局（河野） 道路整備課から回答いたします。

ただいまこの地区は用地買収中で、将来的に拡幅予定となっております。

事務局（西山） 若干補足をさせていただきます。



こちらにつきましては、過去に伊勢山緑地がせり出していたところがあるのですが、そちらを皮切りに工事に着手しまして、今、そちらが将来の都市計画道路の幅員とも重複しているところがございますので、16メートルに拡幅していくという計画がございます。現在はのり面のところが終わりました、バイパスの下に歩道部のトンネルを今つくっている状況です。こちらにつきましては、両側に歩道がつき、自転車の通行帯も将来的には整備していくということで、順次整備を進めているところでございます。

岡村会長 よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、次の議事に行ってよろしいですか。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岡村会長 それでは、レンタサイクルにつきまして説明をお願いします。

〔(3)レンタサイクルについて(調査・研究状況報告)について説明、省略〕

岡村会長 ありがとうございます。

あくまで調査・研究段階ということではございますが、かなりいろいろ調べていただいているかという気がします。いろいろ御質問、御発言をいただければと思います。いかがでしょうか。

澤田委員 前回、観光に自転車をというふうに提案させていただきまして、大変調べていただいて、とてもありがたいと思います。前回、いろいろ御指摘がありまして、理想と現実とは違うな、厳しいなという感じは受けました。私も言ったからには少しはと思ひまして、調べさせていただきました。横浜は電話がずっと出なかったので、詳しく書かれていて、とてもよかったなと思います。

鎌倉の場合、私は観光のほうだけ調べたのですが、「るるぶ」という観光の本がありまして、図書室ですので、そんなにたくさん本はないのですが、これで調べさせていただきましたら、もっとたくさんあると思うのですが、3カ所が出ていました。鎌倉の場合は、レンタサイクルの店だと思ひますが、1日2500円と書かれていまして、あとは、1時間600円の店、400円の店がありました。その中で、全国のことでもないので、いろいろ調べたのですが、京都とか大阪は「るるぶ」には出ていなかったのです。

金沢がいい例がありましたので、金沢の観光のほうで私が調べたのを発表させていただきたいと思ひます。金沢の街中に19カ所のサイクルポートがあります。貸し出し、返却の場合ですが、公共レンタルサイクルだそうです。きのう、電話をかけて伺ったのですが、これはクレジットで行っておりまして、30分で最初が200円、19カ所のところに30分以内で何かしていくらしいのですが、それが過ぎて30分以上かかりましたら、200円取られるということでした。30分以内返却、基本が1日200円で、何回でも可能だということですが、30分過ぎてしまいますと、また200円を足すということらしいです。クレジットカードで行うので、そこのところは無人ということらしいです。外国の方が日本に来た場合、とても乱暴に扱うということテレビで見まして、大国の日本にたくさん来る場所ですと、自転車を貸し出しをしているらしいのですが、その国でなのですが、貸

し出しの自転車を川に投げたり、違うような感じで使うということを見ましたので、これでは日本では危ないなと思ったのですが、金沢の方に伺いましたら、そういうこともなく、クレジットですので、返さなければずっとお金が足すだけですので、今のところそういうことはありませんということを言われました。

自転車といっても、電動ですと、身分証明書とか、デポジットの800円とか、カードで確認するということがあるそうです。

これを見ましたら、横浜市が平成26年度1800万円とか、28年度1400万円が負担と30ページに書かれているのですが、まず最初に、新しい自転車をそろえて、はい、どうぞというよりも、17ページに、年度別実績の撤去数が書かれていまして、だんだん少なくなっているのですが、6057台ありまして、これを取りに行く人もいるのですが、そのまま放棄してしまう人もいるそうなので、1年に何回か売り出すという話を伺ったことがあるのです。これのすごくいい自転車は再利用ですか、自転車の協会の方に協力を求めまして、点検して、いいものは、これを活用するというのもなかなかいいのではないかと思います。

ほかのところでも、観光でするところもしないところもあるのです。江の島に来て歩くという人もたくさんいるのですが、足の弱い方が来たときに、タクシーではお金がかかるし、細い道は通れないということもあります。できましたら、鎌倉市と一緒にあって、自転車で行けたらなと思いますので、いろいろと検討していただけたらと思います。

岡村会長 事務局から特にいいですか。

事務局（北村） ただいまの御意見、ありがとうございます。おっしゃられたように、自転車の確保というところで、初期費用はとても大きな課題となっておりますので、放置自転車を活用することも検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。細谷委員 質問ですが、サイクルに対して、保険料はどうなっているのですか。現在、九千何百万円の保険が請求された例が数件ございます。ただ乗ればいいということだけでなく、事故を起こした場合、どうなるのかということですね。それを皆さんお考えなのでしょうか。

事務局（北村） 民間の事業者にお話を聞く中では、そういった保険に加入している例もあるということなので、利用者のことも考えて、保険加入も検討していきたいと思えます。

岡村会長 利用料に入っているところもあれば、そうではない場合もあるということですね。

事務局（北村） はい。

澤田委員 保険の件ですが、個人的なことですが、うちは息子2人が自転車に乗っています。おじいさん、おばあさんが自転車にひかれて、1億円請求されたという話を聞きまして、小さいころから自転車の保険を掛けています。今はすごく便利で、コンビニで

自転車の保険が掛けられるのですね。1000円、2000円単位ですので、うちの息子には、自転車に乗ったら必ず保険を掛けろというふうにしているのです。ですので、公共でも何でも、こういう運用をしたときにも、自転車と保険というのは非常に安いのではないかと思います。調べていないので、申し上げられませんが、個人的な保険は自転車は非常に安いと思います。

岡村会長 横浜あたりは市が間に入って、積極的に入ってくださいということをしています。レンタサイクルは、個人で入っている人は、人に入っているのと、車両でその場で入るといろいろあるので、難しいのです。レンタサイクルもちゃんとやっているところは一定程度保険はあるのだらうとももちろん思うのですが、大々的にやるときには重要なことです。

ほかはどうでしょうか。調査・研究ということで、引き続きということかと思えます。

多分、事務局の担当の方は大体わかりかと思えますけれども、誰のどういう利用を、より促していきたいかということです。ニーズがあるかというのは大体見ているとわかるのでいいのですけれども、例えば湘南なぎさパークというのは、えのすいのところにある駐車場ですか。江の島の駐車場を使わずにこちらにとめていただいて、水族館も行きながらそちらにというと、江の島の橋の渋滞も緩和されるとかということで、あそこは県の駐車場か何かですね。なので、そういうことも含めて、車の走行を減らしていただいてというので、単に駐車場で営業施策を超えてやっていただいているので、どういうのを促したいのかというところで、恐らく課題は解決されるのかと思えます。

コミュニティサイクルは1台結構するのですね。数万円ではなくて、十数万円という、かなりちゃんとして、無人で置いておきますので、全部同じ規格にしてなので、大々的にやる分には1台当たりある程度下がるとはいつても、それでも十数万円で、東京はいろいろな区がやっているのですが、同じある会社が全部やっていますが、車両は区が出して、運営も補助を出して、利用料はどの程度なのかというと、それだけで見てしまうと、意味があるのという声さえ出てくるようなものです。ただ、全体としては自転車を使うことはいいことなので、余り争点にはなっていないのですが、ちゃんと数字を見て、どんな政策目的でやっているのかというと、もうそろそろ周知もされてきたので、ちゃんと評価しなければいけないのかとは個人的に思っています。システムは大体できてきて、使ったことがあるという人もちょこちょこ増えてきているのでしょうかね。なので、使い方から教えなければいけないというのは大分なくなりつつあるので、そうすると、コミュニティサイクルか、レンタサイクルかというのも、大分答えが出つつあるのかという感じがします。なぎさパーク、0.1回。一瞬少ないのかと思ったのですが、計算すると年間36回出ているのですね。1回幾らなのでしょう。

福島委員 無料です。

岡村会長 無料。それはすごい。でも、駐車料金でいろいろ回収しているということでしょうね。例えば1回500円相当だとして、36回で500円だと1万8000円ですか。ここに

あるような自転車だと5万円はしないぐらいですか。本当に安いのはイチキューパとかありますけれども、さすがにそういうわけにもいかないし。3万円ぐらい。

事務局（北村） なぎさパークのものは2万、3万円ぐらいのものだとおっしゃっていました。

岡村会長 なので、0.1回であっても、もしお金を取ったとしたら2年で十分もとはとれるので、自転車は戻ってくるから、その場で、毎日メンテナンスすることはなく、とりあえず脇に置いておいて、まとめてやればいいので、余りお金はかからないだろうと思うのですね。コミュニティサイクルはどこかへ行ってしまっていますから、大変だと聞いています。なので、私は半分答えは出ているかなと思いつつ、多分連携ができるかどうかだと思っています。

なので、これはどんどん検討して、余計なことを言うてはいけないのですが、オリンピックより前にはと個人的には思っています。

ほかにレンタサイクルはいかがでしょうか。

今後もぜひ報告してください。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岡村会長 それでは、(4)自転車走行空間のあり方の改定について御説明をお願いします。

〔(4)藤沢市自転車走行空間のあり方の改定について説明、省略〕

岡村会長 国のガイドライン等に基づいて市としてはこうですということですが、何か御質問、補足、いかがでしょうか。

これはこうするということですね。技術的に検討されているということで。いかがでしょうか。これについては特によろしいですか。

ですので、先ほど29年度以降いろいろ整備というのは、こちらを基本にやっていくということになるかと思えます。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

岡村会長 そうしますと、一通り議事は終了いたしました。進行を事務局にお返しする前に、委員の皆様方で通して何か御発言ございますでしょうか。特によろしいですか。

それでは、議事は全て終了いたしました。では、予定、その他、あとは事務局で進行をお願いします。

事務局（佐藤） 事務局から何点か事務連絡をいたします。次回の協議会の日程につきましては、まだ決まっておりませんが、例年ですと3月ごろの開催をしておりますので、特段急ぎの調整事項等なければ、そのころの予定になると思いますので、よろしく願います。

それと、次回の協議会の議題ですとか、会場につきましては、決まり次第、御連絡させていただきますので、よろしく願います。

また、本日の資料等で疑問に思った点等、お持ち帰りになって出てきた場合につきま

しては、お受けいたしますので、質問等あれば都市計画課に御連絡いただければと考えております。

以上をもちまして、第7回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会を終わります。本日は、お忙しい中、長時間にわたり、ありがとうございました。

午前11時37分 閉会